

## 令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

【日 時】令和3年5月10日（月） 18時30分 ～ 19時30分
【場 所】小羽山ふれあいセンター
【出席者】○篠崎市長 ○（地区代表者5名） 小羽山地区コミュニティ推進協議会会長 : 婦木 澄男 小羽山小学校 PTA 会長 : 斉藤 亮 小羽山小学校 PTA 副会長 : 大田 由加 小羽山地区子ども会育成連絡協議会会長 : 鈴木 昌美 小羽山地区自治会連合会会長 : 木下 昇 ○政策広報室長 ○総合戦略局 ○事務局（広報広聴課、政策調整課）
【概 要】1 開会 2 参加者自己紹介 3 市長あいさつ 4 意見交換・懇談 5 閉会
【意見交換・懇談】
○コミュニティ推進事業の在り方について 【コミュニティ推進協議会会長】 ・現在、地区への助成金の配分先は、小中学校への助成金も含めてコミュニティ推進協議会に一本化されているが、今後も、同様か。 【市長】 ・地域運営組織に関して、大きな方向性としては、現状どおりの形で進めて行く。 ・今後、各地区で策定している地域計画を、各地区の実情に応じて見直し、生活に密着した部分については、より細かい計画を立てていただきたいと思っている。市も支援する。必要などころに必要な予算をつけ、よりよい地域へと、市も一緒になって取り組んでいきたい。
○宝くじ助成金について 【コミュニティ推進協議会会長】 ・住宅街での防犯カメラの設置数が少ないため、設置個所を増やしたい。宝くじ助成金を利用できるか。

#### 【市長】

- ・防犯カメラについては、宝くじ助成金の対象外のため、流用はできない。
- ・防犯カメラの設置については、プライバシーの侵害の点について考慮しなければならない。
- ・設置には地域の同意が必要である。他地区からも要望があるため、まずは、設置の目的、場所について、地域のニーズ、要望をいただき、各地区、各自治会の皆さんと協力しながら、必要に応じて設置できる仕組みがつかれるのか、検討したい。

#### ○登下校の見守りボランティアについて

##### 【小学校 PTA 副会長】

- ・登下校時の見守りを地域の方々に行っていたが、高齢化している。無理はいえないし、また、保護者が毎日交通立哨をすることも現実的に難しい。行政で、何か良い手だてはないだろうか。

##### 【市長】

- ・ボランティアの高齢化は、全ての地区で課題となっている。
- ・一つの案であるが、市内企業に協力依頼し、月1回「地域活動の日」を定め、その日は、地域の役員をしている社員が定時帰宅でき、地域活動に参加できるような制度をつくりたいと思っている。
- ・協力企業にもメリットがある制度としたい。

#### ○小中一貫教育について

##### 【小学校 PTA 副会長】

- ・すでに小学校・中学校との交流が行われているが、もっと多岐に渡る交流授業を行ってほしい。中学進学への不安、中一ギャップを少なくしてやりたい。小中一貫校にしてくれとまでは言わないが、協力をお願いしたい。

##### 【市長】

- ・令和2年度から小中一貫教育について具体的に動き出したが、去年はコロナの影響もあり、ほとんどできていない状況である。小学校から中学校への切れ目のない取り組みは、非常に大切である。コロナが落ち着いてから、しっかりと推進をしていきたい。
- ・全小中学校に導入したICT機器を活用し、新しい技術の可能性も追求していきたい。
- ・宇部市は公立高校が多いので、小中高一貫教育の可能性もある。

#### ○高齢化への対応

##### 【自治会連合会会長】

- ・地区の高齢化 70 歳以上の一人暮らしの方に対する今後の福祉活動についてどう考えているのか。
- ・集合住宅、坂道が多い環境での生活に対する対策、地域交流がない方々の支援、サロン活性化の助成についてどう考えているのか。

- ・買い物難民や家庭内清掃について、地域でボランティアの協力をお願いしている。市の支援、助成について教えてほしい。

【市長】

- ・独居の高齢者で家にこもりがちになる方にいかに外出してもらえるか、ふれあいセンターでのサークル活動やサロンの活性化等に力をいれ、出かけたと思える仕組みづくりに力を入れ、健康寿命を延伸させたい。
- ・コミュニティバスやコミュニティタクシー等の地域内交通にもしっかり取り組んでいかなければならない。他地区で利用しにくいという声も多いため、市民が利用しやすい制度にして行く。
- ・スーパーの移動販売の仕組みがある。小羽山地区も利用されていると思うが、足りないエリアがあれば教えて欲しい。
- ・有償ボランティアで暮らしがより良くなる仕組みがあるのであれば、応援していきたい。

### ○通学路の安全確保

【自治会連合会会長】

- ・特に小学校前の坂道（下り線）車両の速度について、対策ができないか。ふれあいセンター前の道は、かなりの下り坂で、何もしなくても時速 70～80 kmのスピードが出る。いろいろ対策しているが、良い対策が無く事故も多い。
- ・どんな標識をつけても効果は無いが、警察が立哨していれば、ブレーキを踏んで自然にスピードが落ちると思う。警察の協力が得られれば、少しは違うのではと感じている。

【市長】

- ・県の公安委員会に伝える。
- ・小学校周辺の坂道は最高速度 30km、大通り（市道小羽山中央線）は最高速度 40km の規制が現在されている。速度超過車両への対応は、警察による取締り等が考えられる。通学路における危険箇所として、関係機関による合同点検を行う際に意見をいただきたい。
- ・警察署に協力をお願いしたいと思う。場合によっては、警察署宛に自治会からの要望書を出してもらっても知れないので、そのときは協力をお願いしたい。

### ○街路樹の剪定について

【自治会連合会会長】

- ・ふれあいセンター前の道路の街路樹の枝が伸びて、トラックやバスの通行を邪魔になっている。3か月に1度程度、伸びた枝を剪定して欲しい。

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・公園の前（山口銀行前）に大きな木があるが、台風が来たら折れるのではないか。

【市長】

- ・樹木がいらないと言う意見は、他地区でも出ている。危険箇所があれば市に教えて欲しい。必要に応じ、強剪定や除去を行いたいと考えている。

### ○公園の整備について

【自治会連合会会長】

- ・小羽山地区は公園が多すぎて草刈が大変である。最近、市が刈ってくれない。

【市長】

- ・公園の整備もしっかり考えていく。

### ○子ども会について

【小羽山地区子ども会育成連絡協議会会長】

- ・子ども会加入者は少ないが、少ないながらもアットホームに行事を開催している。
- ・市子連の手伝いに出てもらうのが気兼ねである。
- ・小羽山では、子ども会に入っていないなくても、参加費の上乗せを貰い、子どもが行事に参加できるようにしている。

【市長】

- ・子ども会には入会しないが子ども会活動に参加したいと思っている子どもは多い。
- ・入会していない子どもたちのために、自治会の有志で別に同じ行事をやっている地区もある。
- ・子どもたちのことを第一に考え、制度を変えていかなければならない。

### ○避難訓練について

【自治会連合会会長】

- ・防災訓練を年2回実施しているが、真締川沿いの広田から避難する道がないため、避難訓練ができない。

【市長】

- ・この件については、預からせてほしい。

### ○コロナの今後の対策について

【小学校PTA会長】

- ・先が見えなく不安である。コロナの対策を市長はどう考えているのか。

【市長】

- ・高齢者のワクチン接種が始まった。6月の中旬から、16歳～64歳の方へのクーポンを送付する。接種できる体制を整えているところである。
- ・経済対策として、プレミアム率30%の商品券発行の準備を進めている。
- ・事業者等や家庭での新しい生活様式のための改築等への補助金制度も実施している。
- ・ふれあいセンターにタブレットやWi-Fi等のICT機器を導入している。使い方

の研修を行うので、ぜひ活用して欲しい。

### ○サル等などの被害について

【自治会連合会会長】

- ・サルがでる。イノシシが正門前に出たことがある。

【市長】

- ・安心、安全面で懸念されるため、サル等が出た場合は教えて欲しい。
- ・罾の設置など警察とも協力しながら対処していく。

【市長】

- ・さまざまなお提言をいただき、課題を共有できた。ひとつずつクリアし、暮らしやすい地区を実現に向けて、取り組みを進めていきたい。
- ・これを機に、引き続き、ご意見、ご提言をお寄せいただきたい。